

民事訴訟法

安西明子 = 安達栄司 = 村上正子 = 畑 宏樹

2014年4月刊 / 280頁 / 本体1900円+税
A5判 / 並製



編集
担当者
から

小社の新しいテキストシリーズ「有斐閣 스튜디오」、法律関係の第二弾は『民事訴訟法』です。コンパクトな分量ながらも、言葉と定義づけについてしっかりと記述し、問いかけながら、語りかけながら、民事訴訟法の世界を説いていきます。学部での民事訴訟法の教科書、法科大学院で民事訴訟法を初めて学ぶための入門書・自習書として、広く活用していただきたいと願っています。

まず、巻頭の序章で、民事の紛争とその調整手続を概観します。第1章以下はオーソドックスな構成ですが、各節冒頭のリード文（手続全体の中での各節の位置づけや、論じられる内容を把握できます）、コラム（実務や法改正の解説、判例・学説の錯綜した議論の整理など、内容は多岐にわたります）、CHECK（学んだ内容・ポイントを確認し、理解を深めるための論述問題です）などを用いて、無理なく読み進められるよう工夫しました。さらに、「円環構造」といわれる民事訴訟手続の全体を見通せるよう、リファー（相互参照）や事項索引も充実させています。

上の分類では初級としましたが、入門書としてだけでなく、一度基本を学んだ後、改めて民事訴訟法を学ぼうとする方にも、ぜひお読みいただきたいと思います。（T&K）

Point!

P

本書を手がかりに、ぜひ民事訴訟法の世界に触れてください！

